

私たちの新型コロナウイルス感染症への対応

1. トップメッセージ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によりお亡くなりになられた方々に、謹んでお悔み申し上げます。そして、罹患された方々および感染拡大により生活に影響を受けているすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、過酷な状況下において対応に尽力されている医療従事者・医療関係の方々をはじめ、生活の支援に携わられている方々に感謝申し上げます。

当社は、「ヘルスケアを通じて人々の健康を守ります。」を経営理念とし、世界の人々の健康・生命を守る重要な製品・サービスを提供しており、当社には感染状況の如何に関わらず、新型コロナウイルス遺伝子検査薬をはじめ、日本および世界の医療現場に診断薬・医療機器を継続的に提供する社会的責任があります。

このため、当社は2020年3月に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、従業員と家族の安全・健康の確保を最優先としつつ、重要業務の継続および社会貢献が可能な体制を構築しております。

今後も、これまで以上に感染防御に留意し、お客様、お取引先様、地域住民の皆様、関係各所と連携し、新型コロナウイルス感染症に対して適切に対処してまいります。

2. 新型コロナウイルス感染防止対策（感染症マネジメント）

当社は、「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を作成し、感染防止策の徹底と濃厚接触者・感染者への迅速かつ適切な対応を図ることで、訪問先のお客様並びに従業員とその家族への感染防止に努めております。

現在、以下の感染防止対策を実施しております。

<主な感染防止対策>

（1）従業員の体調管理・感染防止

①検温・体調管理

毎朝、検温および体調チェックを行い、家族・同居者を含めて平熱+1℃以上ある場合や体調に異常がある場合は出社しない。

②手洗い、うがい、マスク着用の徹底

③3密（密閉、密集、密接）回避と換気の徹底

日常生活やプライベートでの行動を含め、普段から3密と換気に注意する。

④時差通勤の実施、通勤時の3密回避

(2) 勤務中の取組み

今後、感染の拡大や政府、自治体の要請等があった際には、迅速かつ臨機応変に対応する。

①勤務形態

出勤率 40%以下を目安として各職場が密にならないよう出勤日を調整し、在宅勤務（テレワーク）を行う。営業部門は、お客様の要請または了承を得た場合に、感染防止対策を徹底して訪問する。工場と研究所は、ソーシャルディスタンスを確保できる環境を整備し、感染防止対策を徹底して通常業務を行う。

②手洗い、うがい、マスク着用の徹底

③会議・社内研修

事業所間の移動、10名以上が1か所に集まる会議・イベントを禁止する。会議はWeb会議を有効に活用し、会議室の定員数の半分以下で開催する。

④3密回避と換気の徹底

⑤出張

都県を越えた移動を原則禁止とする。お客様の要請や緊急対応の場合は、上司の判断・許可、および感染防止策の徹底を条件とする。

⑥来訪者対応

メールやWeb会議を有効に活用し、対面での面会は原則禁止とする。

⑦業務関係者との会食・イベントへの参加

禁止する。

3. 事業継続計画

当社は、新型インフルエンザのパンデミックが発生した2009年に、今後の新型インフルエンザ等感染症の発生・感染拡大に備えて事業継続計画を策定し、定期的に見直しを行っております。新型コロナウイルス感染症の発生に関しても、本事業継続計画を準用しております。今後、感染の拡大や政府、自治体の要請等があり、通常の業務の実施が困難な場合には、社会的責任の遂行のため、最重要製品・重要製品の供給継続に業務を絞り、事業継続策を実施してまいります。

4. 社会支援活動

当社は、早期に新型コロナウイルス検出試薬の開発に着手し、2020年4月にLAMP法による遺伝子検査薬を医療機関向けに発売いたしました。そして、感染拡大に備え、新型コロナウイルス検出試薬の増産体制を速やかに整備し、安定供給を通じて感染症対策を支援しています。なお、ウイルス変異株（デルタ株、ミュー株等）に関する情報を注視し、検出試薬の効果に影響がないことをその都度確認しています。

また、2020年度には、新型コロナウイルス感染症の対応に尽力されている医療従事者・医療関係者の方々をはじめ、支援の届きにくい医療現場や、医療を必要とされているの方々、および各地域における新型コロナウイルス感染拡大の影響により困窮するご家庭やお子様、居場所を失ったの方々への支援を目的として、約4億7千万円の寄付を実施いたしました。